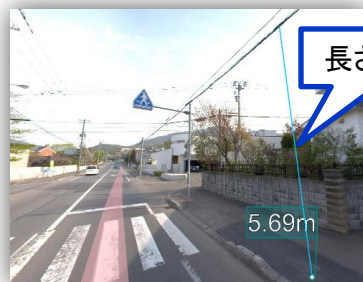


現場に行かずに3DMAP（ステレオ撮影画像）から
電柱・電線・標識・看板などの状況確認・計測を実現します



- ✓ オフィスで3DMAPに映っている対象物を確認できます
- ✓ マウス操作で対象物の実際の大きさや距離を計測できます
- ✓ 地図・位置情報と紐付くため、相対的な位置を把握することができます

3DMAPが提供する機能活用(画像確認、距離計測、マッピング)により、
現場出動回数の削減、多能化など、作業の効率化を支援

3DMAPの特徴

レーザー測量 との比較

レーザーが当りにくい電線の抽出や、高画質による目視確認も可能

<画像>
機材がコンパクト
画像があれば3D抽出できる
データは画像のみ



<レーザー>
機材が大きい
レーザーが当たった箇所のみ3D抽出
点群データのデータ量多い

精度について

画像から距離計測に活用

公共測量（準則第17条）申請が可能な精度を実現できます。
距離計測に関しては、半径15mで誤差約1%以下の計測が可能です。

導入効果



【点検業務】現場出向の人員・車両を最低限に

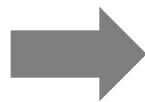
道路のキズ・ヒビ



【設計業務】計測のための出向回数削減



3DMAPで確認し計測



システム構成

撮影システム

全周囲カメラ2台	撮影専用PC
鉛直センサー	記憶装置:HDD
GPS(同時刻同期用)	時速40~60km程で自由走行
GNSS(オプション)	

3DMAPシステム（専用クライアントソフト）必要環境

OS	Windows7 64bit 以上
CPU	Intel Core i5 以上
RAM	8GB以上

■お問合せ先

パナソニック システムソリューションズ ジャパン株式会社
社会システム本部 社会システムセンター

[〒224-8539]神奈川県横浜市都筑区佐江戸町600
TEL.(045) 938-1420

このチラシの記載内容は2017年9月現在のものです